

## UNISON CAPITAL

## ユニゾン・キャピタル株式会社

1998年に設立されたプライベート・エクイティ・ファンド運営会社です。主にヘルスケア、コンシューマーおよびB2Bサービスの分野に注力し投資活動を行っています。

本社：東京都千代田区紀尾井町4番1号  
ニューオータニガーデンコート9F  
設立：1998年10月  
資本金：1億円  
従業員数：約50名  
URL：https://www.unisoncap.com  
(取材日：2021年11月)

## POINT

1 厳しいガイドラインに沿った脆弱性管理の運用が、Tenable.ioを導入することで実現

2 わかりやすいインターフェースとSaaS提供という利便性により、運用工数を大幅削減

3 少数精鋭で多忙な中でも、精度の高い効率的な脆弱性管理体制を確立

## 厳しいセキュリティガイドラインに、Tenable.ioによる脆弱性管理で対応

プライベート・エクイティ・ファンド運営会社であるユニゾン・キャピタル株式会社では、厳しいセキュリティガイドラインを満たすための脆弱性管理を行っていましたが、管理ツールの運用や操作性に苦勞していました。アシストの紹介するTenable.ioにリプレースすることで、少数精鋭で多忙な情報システム部門でありながら、効率的に精度の高い脆弱性管理を遂行できる体制を確立しました。

## 課題

## 対策

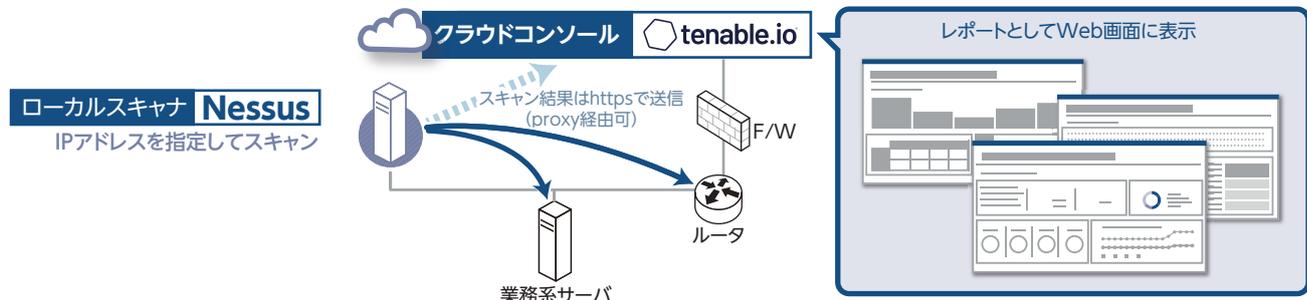
## 効果

- オンプレミス上の脆弱性管理ツールと、そのサーバの保守運用に工数がかかっていた
- 脆弱性管理ツールでは、どの脆弱性から優先的に対応すべきかという判断が困難で、調査に時間を要した
- 複数サーバから情報取得するためのツールの不具合でタイムリーに脆弱性の把握ができないことがあった

- SaaSで提供されるTenable.ioを採用し、ツールとサーバの保守運用工数を削減した
- Tenable.ioの、脆弱性をスキャンする機能、管理機能、レポート機能を包括的に活用した
- 複数サーバからの情報をTenable.ioに集約し、タイムリーに脆弱性の把握ができる環境を整えた

- サーバの運用保守やレポート作成作業ではなく、脆弱性への対応という、本来の業務に時間が割けるようになった
- Tenable.io独自のスコアリングによる脆弱性の優先度付けと対応で、厳格なセキュリティガイドラインに対応できた
- ツール間連携ミスからの脱却により、人手を介さないタイムリーな脆弱性の把握が実現できた

サーバ、クライアントPC、ネットワーク機器の脆弱性、およびIT資産情報(OS、ソフトウェア、バージョン/パッチ情報)を収集、可視化



# Tenable.io

## 使い勝手に課題があった オンプレミスの既存脆弱性管理ツール

ユニゾン・キャピタル株式会社は、主にヘルスケア、コンシューマーおよびB2Bサービス分野の中堅企業への投資を行う、プライベート・エクイティ・ファンド運営会社です。創業以来20年以上にわたる投資活動を通じて培ったノウハウやネットワークを駆使し、投資先企業の成長をサポート。それらは経営チームの強化、成長戦略の策定とその遂行に必要な資金・リソースの提供、デジタルを活用した企業改革などと多岐にわたります。

韓国、シンガポールにも活動拠点がある同社では、別の子会社も合わせて4つのオフィスの情報システムを、2名のIT責任者で管理しています。セキュリティに関してはそれぞれの国に金融ガイドラインがありますが、同社は最も厳しい基準を持つシンガポールのガイドラインに沿って運用を行っています。

2016年から日常的な脆弱性管理を開始したのもその一環です。オンプレミスで構築した管理アプリケーションで、脆弱性検知スキャナーである「Nessus」の情報を見ることができる脆弱性管理ツールを構築しました。しかし、これは使い勝手に問題がありました。オンプレミスのシステムだったため、サーバ管理やツールのメンテナンス作業が必要だったことと、管理アプリケーションのインターフェースがわかりにくく、情報の確認に時間を要しました。さらに、夜間処理として設定していた、Nessusと管理アプリケーション間の連携処理もうまくいかず、ユニゾン・キャピタル株式会社 IT・ファシリティ 藤原和幸氏としては、夜間処理の成否を常に気にかかる状況で、自宅からのリモート対応なども発生していました。

## 操作性に優れ、脆弱性検出スコープも 広いTenable.ioを採用

そうした中、アシストが脆弱性管理製品「Tenable.io」を紹介しました。Nessusをベースとした上位製品であることは既に知っていたため好感を抱き、数台のWindowsサーバを対象に早速PoCを実施。環境構築はアシストだけではなくTenable社のエンジニアもサポートしたため、極めて順調に進みました。検証の結果、同社はTenable.ioの採用を決定します。その理由を藤原氏は次のように語ります。

**藤原氏** インターフェースのデザイン性が高くてわかりやすく、使いやすいのがまず印象的でした。最も重視したのは操作性ですが、スキャン性能と脆弱性を検出できる対象製品の幅も評価しました。以前の脆弱性管理ツールではESXのようなミドルウェアは、Nessusでは標準対応していましたが、管理アプリケーションの方でオプション対応だったのです。Tenable.ioですること、サーバ群のみならず、ネットワーク機器やミドルウェアまでカバーできるようになるのが良いと思いました。さらに、クラウドで提供されるのも、サーバ管理から解放されるので喜ばしかったです。この機会に他社製品も比較検討してみましたが、上記の要件でTenable.io以上のものは見つかりませんでした。



藤原和幸氏

この時点で、既存の管理アプリケーションの保守契約はまだ残っていましたが、契約期間満了を待たずに、Tenable.ioへのリプレースを決定しました。

## Tenable.ioにより精度が高く 効率のよい脆弱性対策を行える体制を 確立

現在、同社の仮想化基盤にNessusをスキャナーとして配置し、サーバ群をはじめ約60の脆弱性検出対象をTenable.ioによりエージェントレスで管理しています。週に1回、自動スキャンを行い、レポートをチェックして対応に当たっています。Tenable.ioでは、共通脆弱性評価システムである「CVSS」と、実際に攻撃を受けやすい脆弱性かどうかといった点などを観点に加えた、Tenable社独自のスコアの表示ができますが、藤原氏は高く出た値を見て対応に当たるといいます。大抵Tenable独自スコアの方が高く出る傾向にあり、より信頼できるスコアと評価しています。ユニゾン・キャピタル株式会社 IT・ファシリティ 木下浩一氏は、Tenable.ioの導入効果を次のように語ります。

**木下氏** 今まではGUIのわかりにくさや自動連携の不具合で、脆弱性レポートを作成する部分に時間が掛かり、レポートを見た結果で必要な対処をするという、本来の仕事にたどり着くまでの手間が非常にかかっていました。Tenable.ioの導入でそれがなく

なり、本来やるべき業務にきちんと時間が割けるようになったことが、一番大きなポイントです。また、クラウドになってサーバ管理が不要となったことも、少人数で業務に当たっている私たちには必要な変化でした。

私たちはセキュリティ体制を投資家に説明する責任を負っていますが「Tenable.ioでこのように脆弱性管理を行っている」と明快に伝えられることも効果の一つです。



木下浩一氏

## SaaSであるTenable.ioなら “外”からの脆弱性検出も可能

藤原氏はアシストのサポートに関してこう語ります。

**藤原氏** 2021年5月からアシストのサポートセンターにTenable.ioの質問ができるようになったのですが、回数を気にすることなく気軽に質問でき、また細かい内容にも丁寧に答えてもらってとても助かっています。

今後、同社では社員約50名の業務用端末であるPCも脆弱性検出対象に含めることも検討しています。現在、こちらについてはWSUSで十分なアップデート管理を行っていますが、より厳密かつ包括的に脆弱性管理を遂行可能なタイミングで移行する予定です。

長年スキャナーとしてNessusを利用し、Tenable.ioを使い始めた同社にはわかったことがあるといえます。

**藤原氏** SaaS提供されるTenable.ioを使って気づいたのは、クラウドであるため外側からも脆弱性検出が行えることです。攻撃者の視点で、どれほど“ドア”が開いているかをチェックできることは脆弱性管理上有益なことで、これからTenable.ioを検討するという方には利用をお勧めします。

少数精鋭で多忙な中でも、金融機関ならではの厳しいセキュリティ基準を満たさなければならないユニゾン・キャピタル。同社のセキュリティ対策でTenable.ioが担う役割は、ますます重大になっていきます。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/tenable/> E-Mail: [sec\\_info@ashisuto.co.jp](mailto:sec_info@ashisuto.co.jp)

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷スクエアビル TEL:03-5276-3653  
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 16F TEL:011-281-1161  
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F TEL:050-3816-0970  
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F TEL:052-232-8211  
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F TEL:050-3816-0972

大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F TEL:06-6373-7113  
広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F TEL:050-3816-0974  
福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑業通ビル 9F TEL:092-481-7156  
沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル 4F TEL:050-3816-0976